

こんにちは、SSH 推進委員会です。SSH 推進委員会は富田林中学校・高等学校の SSH の取り組みを企画・実行する委員会です。富田林中学校・高等学校は 2017 年度から、**文部科学省より SSH の指定を受け、今年度は SSH の5年目**になります。この SSHNEWS は **SSH の取り組み**や、大学の研究室訪問などの研修の案内を掲載します。第1号となる今回は SSH とは何か、そして具体的な活動を掲載します。

Q. そもそもSSHって何？

A. Super Science High schools の略称です！

SSH 指定校は、科学技術系人材育成のため、各学校で作成した計画に基づき、①**独自のカリキュラムによる授業**や、②**大学・研究機関などとの連携**、③**地域の特色を生かした課題研究**など様々な取り組みを積極的に行う。【科学技術振興機構 ホームページ】より引用

Q. 実際SSHの活動って具体的にはどんなことをしているの？

① 独自のカリキュラムによる授業

⇒教科として**探究**を設定して、1年次は探究Ⅰ、2年次は探究Ⅱ、3年次は探究Ⅲを行っています。

探究とは…自己の在り方・生き方を考えながらよりよく課題を発見し解決していくこと

出典元：【総合的な探究の時間編】高等学校学習指導要領

探究の時間は個人または班で課題（テーマ）を設定し、その課題（テーマ）を解決するためにはどうしたらよいかを自分たち自身で考え、検証する時間です。



② 大学・研究機関などとの連携

⇒昨年度は大阪大学産業科学研究所に行き、量子科学系、材料系、AI 系の研究室を約1時間の見学をしました。他にも大阪市立大学とオンラインで研究室交流をしたり、奈良県立大学の研究室を訪問しました。

③ 地域の特色を生かした課題研究

⇒大学・企業・行政機関など25以上の団体を招き、「地域の人との交流」や「パネルディスカッション」を含む『とんこう地域フォーラム』を毎年3月に開催しています。昨年度は中学生・高校生・科学部・ユネスコ部・企業や行政合わせて全体で100を超えるポスターやブースが集まりました。



他にも**韓国や台湾、高津高校の高校生と英語で交流**したり、大阪サイエンスデイをはじめとする様々な発表会に参加し、優秀な結果をおさめています！！

（大阪サイエンスデイは富田林高校が三年連続最優秀賞！）

（サイエンスキャッスル 2020 関西大会 ポスター発表、口頭発表の部最優秀賞！）

各種案内も来ています！ 2階の北階段に掲載しています！

- ・化学グランプリ
- ・グローバル科学技術人材の育成プログラム
- ・物理チャレンジ

各種案内の二次元コードはこちら⇒